

第1回たつの市新宮地域小中一貫校開校準備委員会小学校区部会（越部小学校）
議事録

日時 令和5年12月11日（月）
午後7時から
場所 越部コミュニティセンター

1 開 会

2 報 告

(1) たつの市新宮地域小中一貫校開校準備委員会の組織について【資料1～3】

3 議 事

(1) 部会長及び副部会長の選任について
部会長を小学校PTAの赤松 義生氏、副部会長を地区自治会の三宅 守氏とする。

(2) 今後のスケジュールについて【資料4】

(3) 新宮地域小中一貫校における通学手段について【資料5】

<質疑応答>

(委員)

北に向かって歩くとなると、上りの道を3km歩いていることになるため、実質、3km以上の距離を歩くことになる。通学路の状態も考慮して通学手段を検討してほしい。

(事務局)

事務局が提示した通学手段は原則であり、地区ごとの事情を考慮し、総合的に判断したい。

(委員)

加東市にある東条学園では、開校2年目になってもスクールバスの協議を続けられていると聞いた。先進校の意見を取り入れながら進めてほしい。

(事務局)

加東市と情報交換しながら進めたい。

(委員)

仮に全員をスクールバス通学にする場合、課題となるのは予算的などころなのか。

(事務局)

バスの運転手の確保が課題となる。

(委員)

令和10年度の児童数は分かっているのか。開校時の人数でルートを考えてほうがいいのではないか。

(事務局)

令和10年度の児童数については教育委員会で把握しており、次回には、その児童数を基にバスのルート案をお示しする。

(委員)

スクールバスのピストン運行はできないのか。

(事務局)

下校は、高学年と低学年で下校時刻が異なるので出発時刻を分けることになるが、登校は到着時刻の関係で難しい。

(委員)

乗降場所を減らせばより多くの人数を乗せることができるのではないか。

(事務局)

乗降場所については、次回に案を提示するので、ご意見をいただきたい。

(委員)

全員が乗れないのであれば、低学年はスクールバス通学で、高学年は自転車通学できないのか。

(事務局)

県内で自転車通学をしている小学校はないのではないかとと思われる。文部科学省が作成した文書には自転車通学が駄目だと書いているわけではないが、徒歩通学の記載がある一方で自転車通学に関する記載がないため、小学生が自転車で通学することを想定していないと思われる。このことから徒歩通学のほうが安全ではないかと考えている。

(委員)

人数に合わせてバスの大きさを変えるなどの対応はできないのか。

(事務局)

バスの運転手の確保が困難であり、1台のバスに多くの児童を乗せたいと考えている。

(委員)

下校時刻は児童により異なっていると思うが、こういった対応となるのか。

(事務局)

低学年と高学年の下校時刻が異なる日は、それぞれの下校時刻に合わせて1便ずつ運行することを想定している。

(委員)

停留所を何か所か経由すると登下校にどれくらい時間がかかるのかシミュレーションしてほしい。

(事務局)

経由地が増えると児童の歩く距離は減るが、バスの乗車時間が増える。到着時刻から逆算してバスの出発時刻を決め、児童に負担をかけないように、乗降場所までの時間とバスに乗る時間の折り合いを見つけなければならないと考えている。登下校のルートだけでなく、出発時刻と到着時刻の案も次回に提示したい。

4 その他

<質疑応答>

(委員)

卒業生等の意見を広く募り、小中一貫校の建設について市全体で盛り上がるよう情報発信に努め、いい学校を作ってほしい。

(事務局)

基本設計が完成するまでに皆さんのご意見を伺う機会を作りたい。また、情報発信についても努め、いい学校にしていきたい。

(委員)

越部小学校の跡地活用はどうするのか。開校に向けた検討と合わせて跡地活用について考えたほうがいいのか。

(事務局)

市において、市有財産の活用に係るステップがある。4つの小学校が跡地利用の対象となるので担当課にはこの意見を共有させていただく。

(委員)

越部小学校に埋めたタイムカプセルはどうなるのか。掘り返すときは誰かが連絡をくれるのか。

(事務局)

タイムカプセルについて、教育委員会は把握していない。当時の担任の先生から連絡したり、先生へ連絡して掘り返しに行くことが多い。各学校において、タイムカプセルについて基地を把握し、小中一貫校開校までに対応するようにしておく。

5 閉 会